

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

質問	回答の選択肢	栃原 辰郎（新）
Q1.村道の復興復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	早くできる復旧は、先に工事した方が良い。1年以内の復旧、復興はできないと思う。
Q2.仮設住宅について	a.現状の仮設住宅対策（2年）を推し進める b.仮設住宅の長期（2年以上）使用 c.復興住宅を提供する	b. 復興住宅は必要と思うが、地域の皆さんの考えを聞いてやるべきだと思う。
Q3.義援金などの会計報告の詳細について	a.義援金の入金や支払の明細（地区、人数など）を公表 もしくは閲覧可能にする b.配布先の使われ方や効果を公表する c.現状の情報開示でよい	a.
Q4.上水道の復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	b. 地域の皆さんの意見を聞き復旧を進めるべきだとも思う。
Q5.地割れや崩落した農地の復旧・復興について	a.県や国への陳情など、可能な対応策を講じる b.新たな村独自の政策を追加し、復旧を加速する c.現状の復旧政策を、確実に推し進める	b. 少ない金額でできる、復旧は、先に、した方が良い。
Q6.久木野温泉「木の香湯」の復興について	a.公設・第三セクター営業方式（現状）がよい b.公設・民間営業方式がよい c.民間施設・民間営業方式がよい	a.
Q7.村長に求める最も大切な姿勢	a.決断と実行で前に進める姿勢 b.常に村民の意見に耳を傾け、村政策に生かす姿勢 c.高齢者、子供、女性などの弱い立場の住民に配慮した政策を実行する姿勢	b.
Q8.村の借入金について	a.不可欠な政策があり、追加の借入の検討が必要 b.これ以上、借入金を増やさない財政が不可欠 c.借入金を減らす緊縮財政が必要	b. 政策に応じた検討が必要で、増す、増さないはわからない。
Q9.村政・行政の情報開示のレベルについて	a.情報開示ありきの村政に方向転換すべき b.情報開示のレベルは低く、改善の余地がある c.改善の余地はあるが、相応のレベルである	a.
Q10.村議会の動画配信や議事録の公開について	a.新しい設備を最大限利用し、速やかに実施する b.公開内容を精査するなどの検討が必要 c.傍聴や「議会だより すいげん」で相応に公開されており、改善を加えながら推し進める	c.
Q11.観光について	a.農業を主体にした観光事業を具体化する b.自転車専用道路やハイキングコースの整備などで観光客の多様なニーズに応える c.震災前の状態に戻し、改善を加える	c. 震災前に早くもどり、それから考えるべきだと思う。
Q12.入院できる病院の必要性や、小児医療の充実について	a.隣接町村・医師会とも協力して積極的に進める b.民間の医療機関の動きに任せる c.現状維持でよい	a.
Q13.農業について	a.集約農業を推進し、補助金を利用する b.循環型農業を推進し、内外の関心を集める c.現状に加え、栽培品種を増やすなどを奨励する	農業は、個々の考えがあり、やり方が色々あるので、個別に村がサポートした方がよい。
Q14.子育て支援について	a.総合的な子育て支援村として確立する b.学童保育の運営を行政がサポートする c.ママサポート制度を復活させる	支援を受けられる皆さんの意見を聞き行政がサポートする。

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

中川 秀喜 (新)	松岡 隆敏 (現)	桐原 純男 (現)
b.	c. 1年以内と言うのは厳しいがなるべく早く復旧、復興を目指す。	c.
c.	c. 復興住宅、さらに村営住宅を作って被災者に提供する。	仮設住宅の期間延長と復興住宅の提供を同時に状況に合わせて行っていく。
b.	a.	a.
c.	c.	a.
a.	a.	b.
公費で撤去 住民が利用できるようにする	c. 現在村にはいくつも第三セクターがあるので、これ以上増やさない方がいい。	c.
b.	b.	b.
(コメント欄に記載なし)	a.	a.
b.	b.	b.
a.	c.	b.
a.b.	a.	a.
a.	a. 総合病院が南阿蘇に必要である。	a.
6次産業化の農業にも進める	b. 後継者が育つ魅力ある農業を目指す。	b.
a.	b.	a.

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

質問	回答の選択肢	今村 六王（現）
Q1.村道の復興復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	国、県の査定が終わらなければ、工事が出来ない状況なので、国、県に陳述して、早期に着工すべきだと思う
Q2.仮設住宅について	a.現状の仮設住宅対策（2年）を推し進める b.仮設住宅の長期（2年以上）使用 c.復興住宅を提供する	仮設住宅を延長し、3年として復興住宅を造り、被災者を助けるべきと考える。
Q3.義援金などの会計報告の詳細について	a.義援金の入金や支払の明細（地区、人数など）を公表もしくは閲覧可能にする b.配布先の使われ方や効果を公表する c.現状の情報開示でよい	a. 義援金公表をお願いしているが、今だ何もない、今後、議会で、質問をし、対応策を行いたいと思う。
Q4.上水道の復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	b. 久木野地区については、ボーリングで、5・6駐在区の対応している。立野、黒川、長野等は、追加策を行い、安全な水を飲んでいただきたいと思
Q5.地割れや崩落した農地の復旧・復興について	a.県や国への陳情など、可能な対応策を講じる b.新たな村独自の政策を追加し、復旧を加速する	国・県に査定を早める様に、働きかけ、早急に、復興していきたいと考えます。
Q6.久木野温泉「木の香湯」の復興について	a.公設・第三セクター営業方式（現状）がよい b.公設・民間営業方式がよい c.民間施設・民間営業方式がよい	公設・公営で、復興対策費で、解体・再開を早急に出来ないか、企画課と協議をしています。
Q7.村長に求める最も大切な姿勢	a.決断と実行で前に進める姿勢 b.常に村民の意見に耳を傾け、村政策に生かす姿勢 c.高齢者、子供、女性などの弱い立場の住民	c. 自分で6つの約束を、公約にして運動をしています。私も障害者であるので、福祉対策には、頑張り、弱者政策に力をだしたい。
Q8.村の借入金について	a.不可欠な政策があり、追加の借入の検討が必要 b.これ以上、借入金を増やさないと財政が不可欠	現在、復興にむけて起債を使い、早急に多方面に対策、整備をして欲しいと思います。
Q9.村政・行政の情報開示のレベルについて	a.情報開示ありきの村政に方向転換すべき b.情報開示のレベルは低く、改善の余地がある c.改善の余地はあるが、相応のレベルである	積極的に開示を、情報を村民に知らせることが大事であり義務である。
Q10.村議会の動画配信や議事録の公開について	a.新しい設備を最大限利用し、速やかに実施する b.公開内容を精査するなどの検討が必要 c.傍聴や「議会だより すいげん」で相応に	ケーブルテレビを実施の方向に考え、議員の積極的な発言をしたい 議会の活性化をしたいと思います。
Q11.観光について	a.農業を主体にした観光事業を具体化する b.自転車専用道路やハイキングコースの整備などで観光客の多様なニーズに応える c.震災前の状態に戻し、改善を加える	村の企画観光課と協議をしながら、観光開発を抜本的に考え、村の経済を回したり、農業プラス観光を考えたいと思います。
Q12.入院できる病院の必要性や、小児医療の充実について	a.隣接町村・医師会とも協力して積極的に進める b.民間の医療機関の動きに任せる c.現状維持でよい	南郷谷地区に医療センターを開設し、救急医療対策を、広域組合議会で、話し合いをしています。広域的にし、住民の負託に答えたい。
Q13.農業について	a.集約農業を推進し、補助金を利用する b.循環型農業を推進し、内外の関心を集める c.現状に加え、栽培品種を増やすなどを奨励	農業の担い手が少ないので、土地の集積をし、農業法人化を進め、農業の活性をはかりたい。
Q14.子育て支援について	a.総合的な子育て支援村として確立する b.学童保育の運営を行政がサポートする c.ママサポート制度を復活させる	私は12月定例機会、旧久木野地区対策として村営で運営するように質問しています。4・5・6年生も学童保育を行い、保護者が安心して働ける様な、仕組みを作り、若者定住を、つくりたい。

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

橋本 功（現）	後藤 征昭（現）	丸野 健一郎（現）
b. 狭い道路の拡幅を整備救急車輛が通行出来る事を目指す	c.	c.
c. 地域コミュニティに配慮した災害公営住宅を最優先に取り組みたい	b.	地域の復旧、再建状況を見ながら、仮設住宅の長期使用等検討していくべきである。
a. 被災者支援制度でありすべて公表しなくてはならない	c.	a.
a. 立野地区等など復旧していない地区が断水解消には、ボーリング掘削を求められる	a.	c.
a. 地割れは宅地も対象になるので方策を講じたい	c.	b.
a. 福利厚生温泉のため復旧しなくてはならない	c.	民間の力や知恵を借りる必要もあるかもしれない、併せて、下田温泉や憩いの家の復興についても考えていく必要がある。
b.	a.	b.
b.	b.	借入金はあまり増やすべきではないが、スピード感を持って復旧、復興を行う為必要な時はやむを得ない。
a.	b.	b.
b.	a.	a.
b.	c.	a.
a. 医療費助成制度の見直しを求めたい	b.	a.
b.	a.	b.
a. 子育て環境の整備と出生率の向上に取り組む	a.	a.

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

質問	回答の選択肢	荒牧 俊一（現）
Q1.村道の復興復旧について	a. 1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	一刻も早く復旧を目指す、仮復旧でも1～2年、本格復旧には4～5年は必要である
Q2.仮設住宅について	a.現状の仮設住宅対策（2年）を推し進める b.仮設住宅の長期（2年以上）使用 c.復興住宅を提供する	再建困難な人の為の、災害公営住宅を整備すると共に、必要であれば仮設住宅の延長期間を認める。
Q3.義援金などの会計報告の詳細について	a.義援金の入金や支払の明細（地区、人数など）を公表もしくは閲覧可能にする b.配布先の使われ方や効果を公表する c.現状の情報開示でよい	会計報告は公表して 間違った情報が流布されない様にする
Q4.上水道の復旧について	a. 1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	一刻も早く復旧して 住民の早期帰還を進める
Q5.地割れや崩落した農地の復旧・復興について	a.県や国への陳情など、可能な対応策を講じる b.新たな村独自の政策を追加し、復旧を加速する c.現状の復旧政策を、確実に推し進める	国・県の施策で対応不可能な部分には村独自の施策を行い、営農の早期再開を促す。
Q6.久木野温泉「木の香湯」の復興について	a.公設・第三セクター営業方式（現状）がよい b.公設・民間営業方式がよい c.民間施設・民間営業方式がよい	地域住民の意向を尊重し公営・民営は問わず、営業を再開する
Q7.村長に求める最も大切な姿勢	a.決断と実行で前に進める姿勢 b.常に村民の意見に耳を傾け、村政策に生かす姿勢 c.高齢者、子供、女性などの弱い立場の住民に配	a.
Q8.村の借入金について	a.不可欠な政策があり、追加の借入の検討が必要 b.これ以上、借入金を増やさない財政が不可欠 c.借入金を減らす緊縮財政が必要	負担はおさえるべきであるが、政策遂行に必要であれば有利な借入を模索すべき
Q9.村政・行政の情報開示のレベルについて	a.情報開示ありきの村政に方向転換すべき b.情報開示のレベルは低く、改善の余地がある c.改善の余地はあるが、相応のレベルである	c. 過剰な請求に対しては歯止めも必要である
Q10.村議会の動画配信や議事録の公開について	a.新しい設備を最大限利用し、速やかに実施する b.公開内容を精査するなどの検討が必要 c.傍聴や「議会だより すいげん」で相応に公開されており、改善を加えながら推し進める	c.
Q11.観光について	a.農業を主体にした観光事業を具体化する b.自転車専用道路やハイキングコースの整備などで観光客の多様なニーズに応える c.震災前の状態に戻し、改善を加える	恵まれた観光資源を生かすと共に、現在一部では取り組まれているが、観光事業者と農業の連携を図りながら体験型や滞在型の特色有る事業を進める
Q12.入院できる病院の必要性や、小児医療の充実について	a.隣接町村・医師会とも協力して積極的に進める b.民間の医療機関の動きに任せる c.現状維持でよい	a.
Q13.農業について	a.集約農業を推進し、補助金を利用する b.循環型農業を推進し、内外の関心を集める c.現状に加え、栽培品種を増やすなどを奨励する	個々の農家が多様な想いで取組まれている事を尊重すると共に、地域組織の強化を図られているところは、国・県の施策を利用する。小農の存在がなくては地域の維持はできない。
Q14.子育て支援について	a.総合的な子育て支援村として確立する b.学童保育の運営を行政がサポートする c.ママサポート制度を復活させる	a.

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

太田吉浩(現)	笠野真喜(現)	山室昭憲(現)
向こう一年内の復旧を目指していきながら、発生する追加策は優先順位に照らし合わせて対応できるよう村（執行部）に働きかける。	b. 災害に強い道路計画をする	重要路線から順次復旧 全線復旧、復興は3年以内（総件数 250件くらい）
原則2年で生活再建できるよう、各家庭の希望に合わせた支援策を提案する。自主再建か復興住宅か選択肢を増やすよう努力したい。	b. 復興公営住宅を早々に作る	c. 復興住宅の建設を急ぐ、随時提供する。住宅が不足する場合、当然仮設住宅の使用を延ばす。
透明度の高い情報開示を村に働きかけたい。	b.	詳細に報告が望ましい。個人情報保護法がネックになるのでは？
向こう一年内の復旧を目指していきながら発生する追加策は優先順位に照らし合わせて対応できるよう村に働きかける。	a.	1日も早い復旧が急務。立野地区については水質、国道57号復旧時期等の難問あり。
現状の計画を推し進めながら国・県に支援要望を行うとともに、村独自で可能な政策も加速するよう村に働きかける。	a.	a. 補助対象外については独自案あり。個人負担についてはもう少し検討の余地あり。
可能であれば財政負担がないC案がベターだが民間企業が安定した経営（運営）ができるよう村からの支援やチェックを提案したい。	c.	a.b.c. 木の香の湯の再建が重要であり運営方式はどれでも良い。
a.b.c.の全てを併せ持つような姿勢が求められる。歴史的に名君と評価が高い。保科正元や上杉鷹山のような政治姿勢が理想。	b.	a.b.c. 全部の姿勢 今は非常時である、村長は震災の復興に全力を尽くす姿勢
徹底的に無駄を省き借入金の削減を図りながらも、将来の投資として必要なものには優先順に照らした財政出動が必要。	b.	a. 甚大な災害普及、復興費には村の一部負担金あり、一部負担金には村債（借入金）を充てる。村債には当然交付税で充当あり。
a.	b.	b.
a.	a.	c. 庁舎内のモニターで公開 パフォーマンスに注意
補助金ありきの観光ではなく、南阿蘇村の自然、農業、人を生かした観光を实践する。メディアやネットを活用した積極的な情報発信も必要。	a.オーガニック生産組合で小規模ながら取り組んでいる。	b.
a.	a.	a. 現在村の入院ベット数は皆無であり、不安あり、地元医師会と調整重要、公立化は慎重に
b.	c. 有機農産物を加工したブランド製品を作る	a.b.d. 6次産業化の推進
a.	b.	まず、多子世帯の支援強化。 第三子以降の子供は中学生まで全ての負担を無料化

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

質問	回答の選択肢	今村 竜喜（新）
Q1.村道の復興復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	c.
Q2.仮設住宅について	a.現状の仮設住宅対策（2年）を推し進める b.仮設住宅の長期（2年以上）使用 c.復興住宅を提供する	a. 仮設住宅の使用は当初のとおり最長2年間。
Q3.義援金などの会計報告の詳細について	a.義援金の入金や支払の明細（地区、人数など）を公表もしくは閲覧可能にする b.配布先の使われ方や効果を公表する c.現状の情報開示でよい	c.
Q4.上水道の復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	c. 地域間の事情があるかもしれないが、今回の災害を機に一元化を進めるべきと思う。
Q5.地割れや崩落した農地の復旧・復興について	a.県や国への陳情など、可能な対応策を講じる b.新たな村独自の政策を追加し、復旧を加速する c.現状の復旧政策を、確実に推し進める	a.
Q6.久木野温泉「木の香湯」の復興について	a.公設・第三セクター営業方式（現状）がよい b.公設・民間営業方式がよい c.民間施設・民間営業方式がよい	a. 補助対象施設であるため民間への売却はいかがなものか？ どちらにせよ施設の再開を早急に望む。
Q7.村長に求める最も大切な姿勢	a.決断と実行で前に進める姿勢 b.常に村民の意見に耳を傾け、村政策に生かす姿勢 c.高齢者、子供、女性などの弱い立場の住民に配慮した政策を実行する姿勢	a.b.c. 全てにおいて大切と考える。
Q8.村の借入金について	a.不可欠な政策があり、追加の借入の検討が必要 b.これ以上、借入金を増やさない財政が不可欠 c.借入金を減らす緊縮財政が必要	a. 長期的な返済計画と財政調整基金や復興基金の有効的活用を願う
Q9.村政・行政の情報開示のレベルについて	a.情報開示ありきの村政に方向転換すべき b.情報開示のレベルは低く、改善の余地がある c.改善の余地はあるが、相応のレベルである	c.
Q10.村議会の動画配信や議事録の公開について	a.新しい設備を最大限利用し、速やかに実施する b.公開内容を精査するなどの検討が必要 c.傍聴や「議会だより すいげん」で相応に公開されており、改善を加えながら推し進める	c. 編集作業も順調なようである。休日議会などで傍聴の機会を増やしてはどうか。
Q11.観光について	a.農業を主体にした観光事業を具体化する b.自転車専用道路やハイキングコースの整備などで観光客の多様なニーズに応える c.震災前の状態に戻し、改善を加える	熊本城と同じく、復興状況も観光に取り入れ 商工観光の復興を目指す。
Q12.入院できる病院の必要性や、小児医療の充実について	a.隣接町村・医師会とも協力して積極的に進める b.民間の医療機関の動きに任せる c.現状維持でよい	a.
Q13.農業について	a.集約農業を推進し、補助金を利用する b.循環型農業を推進し、内外の関心を集める c.現状に加え、栽培品種を増やすなどを奨励する	a.b. 環境保全型農業の推進と“あか牛”などの特産品と組み合わせた複合経営の確立を目指す。
Q14.子育て支援について	a.総合的な子育て支援村として確立する b.学童保育の運営を行政がサポートする c.ママサポート制度を復活させる	b.

村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

伊藤 清起 (現)	下田 新喜 (現)	工藤保雄(新)
c. 広範囲で復旧、復興の現場が多いため4年～5年は、かかると思う	a.b. 我村の復旧・復興は、急務であり、県、国とのかけ橋となり、経験を生かしたい	早期復旧が望ましいが、優先順位を精査する。
c.	b. 仮設建設が他町村より遅れて、住民の皆様には、多大なる迷惑をおかけ致しました。長期の使用を推します。	b.
c.	a. 村民の皆様に、明確にすべきであると考え。義援金の使い方によっては、復旧が厳しくなるかもしれない	a.
c.	a. 水に関しては、命にかかるもので、早急を要すとおもう	a. 各地域の実状応じた対応。
c. 広範囲のため、復旧、復興には、4年～5年はかかると思う	a.b. 国・県・村が一体になり、早急な普及をめざす為にも、2期8年の実績を生かしていきたい。	a.
c. 私が、今進めている民間企業を導入し村の条件に合う様な温泉施設を作りたい。	今までは、第三セクター営業であったが、民間委託も選択肢の一つと考えられる	復興予算を算出するとともに観光施設か、福祉施設どちらかの検討から始める。
b.	a.b. 村民の意見を聞き、確かな決断力、スピードが必要である	村民の意見を尊重した決断と実行
c.	b. 無駄なものを造らない、借入金は、増やさないと村民の意見を聞くべきである	b. 復旧、復興においてはこの限りではない。
c.	a. 情報開示がない。村民は不安ばかりであると思う	b.
a.	議員一人ひとりの心掛けが大事であると共に、村民にはわかりやすいよう開示するべきと考える	b.
a.	地産地消、世界の阿蘇を最大限と考える	a.b. 箱物による観光ではあってはならない
a.	a. 我村は、医療体制が遅れていると考える	a. 南阿蘇地域に緊急対応できる医療機関が必要である。
b.	b. 他地域を参考にし、良いところは、まねる。	それぞれの形体で若手が頑張っています。より一層の支援と、農地の荒廃を止めることが行政の早急な課題です。
a.	子育て支援としては、他村よりも良いと思うが、まだ不十分であると思う	a. サポートして下さる人の育成が重要です。



村議員選挙立候補予定者へのアンケートの結果一覧

質問	回答の選択肢	立石武博（新）
Q1.村道の復興復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	生活道路、村道の復旧には村の財政だけでは困難なため公的支援で1日も早く復旧させるべき。
Q2.仮設住宅について	a.現状の仮設住宅対策（2年）を推し進める b.仮設住宅の長期（2年以上）使用 c.復興住宅を提供する	被災者の要望に基づき仮設住宅の住環境の改善を図る。入居者の希望によっては2年以上の使用を認め、平行して復興住宅も提供する。
Q3.義援金などの会計報告の詳細について	a.義援金の入金や支払の明細（地区、人数など）を公表もしくは閲覧可能にする b.配布先の使われ方や効果を公表する c.現状の情報開示でよい	県及び村に寄せられた義援金は国民からの任意の見舞金であり、全壊、半壊、一部損壊など被災状況に見合う分配がされ、総額、各支給世帯数残額などが開示されるべき。
Q4.上水道の復旧について	a.1年以内の復旧・復興を目指す b.現状の計画は不十分で追加策が必要 c.現状の復旧・復興計画を確実に継続する	立野地区の水道は1日も早く復旧させるべきで、それ以外の地域も急いで復旧させるべき。震災被害からの復旧なので費用も国の負担とすべき。
Q5.地割れや崩落した農地の復旧・復興について	a.県や国への陳情など、可能な対応策を講じる b.新たな村独自の政策を追加し、復旧を加速する c.現状の復旧政策を、確実に推し進める	村独自では財政的に困難のため国、県の責任で公的支援で復旧すべき。そのためにも東日本大震災の時のようにも自民党も公約した「特別立法」を作って支援すべき。
Q6.久木野温泉「木の香湯」の復興について	a.公設・第三セクター営業方式（現状）がよい b.公設・民間営業方式がよい c.民間施設・民間営業方式がよい	公設・第三セクター方式が良いが復活には公的財政支援が欠かせない。国は国民に増税を押し付けながら予算の使い方は無駄が多い。被災者支援・復興こそ優先すべき
Q7.村長に求める最も大切な姿勢	a.決断と実行で前に進める姿勢 b.常に村民の意見に耳を傾け、村政策に生かす姿勢 c.高齢者、子供、女性などの弱い立場の住民に配慮した政策を実行する姿勢	地方自治法の第一条2が定める通り、村長の仕事は「住民の福祉の増進を図ること～」である。利権や不正など疑われる行為があってはならず、議会はそのチェックをすべき
Q8.村の借入金について	a.不可欠な政策があり、追加の借入の検討が必要 b.これ以上、借入金を増やさないと財政が不可欠 c.借入金を減らす緊縮財政が必要	被災者支援・復興のため支出は必要。震災被害なので「特別立法」で国が全額負担すべき。税金は立野ダム建設をやめて南阿蘇鉄道の復旧、危険箇所対策などに回すべき。
Q9.村政・行政の情報開示のレベルについて	a.情報開示ありきの村政に方向転換すべき b.情報開示のレベルは低く、改善の余地がある c.改善の余地はあるが、相応のレベルである	村政に関わる情報は村民の共有財産で、議会制民主主義の土台であり、記録・保存し開示されるべき。村の情報開示は他の自治体に比べ遅れており早急に改善が必要。
Q10.村議会の動画配信や議事録の公開について	a.新しい設備を最大限利用し、速やかに実施する b.公開内容を精査するなどの検討が必要 c.傍聴や「議会だより すいげん」で相応に公開されており、改善を加えながら推し進める	村議会では「合同委員会」なる会議が行われ傍聴は可能だが正式な議事録が残されないのは問題。議会動画や議事録のネット配信は他の自治体のようにすぐに行うべき。
Q11.観光について	a.農業を主体にした観光事業を具体化する b.自転車専用道路やハイキングコースの整備などで観光客の多様なニーズに応える c.震災前の状態に戻し、改善を加える	観光面で急ぐべきは南阿蘇鉄道の全線復旧・豊肥線との連結。立野駅周辺はダムではなく、ジオサイトに相応しく立野溪谷の自然と大地の営みが理解できる観光施設が良い。
Q12.入院できる病院の必要性や、小児医療の充実について	a.隣接町村・医師会とも協力して積極的に進める b.民間の医療機関の動きに任せる c.現状維持でよい	震災を経験した結果、村内に救急医療の体制の確立が必要であり可能であれば総合病院が望ましい。早急に近隣自治体、医療関係者などと協議し実現へ検討すべき。
Q13.農業について	a.集約農業を推進し、補助金を利用する b.循環型農業を推進し、内外の関心を集める c.現状に加え、栽培品種を増やすなどを奨励する	国が農産物の価格保証と所得補償を組み合わせた制度を作り、安心安全な食糧の確保と自給率の向上を進めながら、南阿蘇ブランドの農産物や加工品の振興を図ること。
Q14.子育て支援について	a.総合的な子育て支援村として確立する b.学童保育の運営を行政がサポートする c.ママサポート制度を復活させる	全国に広がる学校給食の無料化、子ども医療費の窓口負担の撤廃、教育費の負担軽減を図るべき。